

生活科学系コンソーシアム会議（第6回）議事録

日時：平成21年4月28日（火） 17:00～19:00

場所：日本学術会議6-A（1）会議室

出席者：

コンソーシアム構成7学会より8名

日本衣服学会（阿部栄子）

日本栄養・食糧学会（加藤久典）

日本家政学会（今井悦子）

日本家庭科教育学会（大竹美登利）

日本消費者教育学会（天野晴子）

日本食生活学会（菅原龍幸・殿塚婦美子）

日本調理科学会（長尾慶子）（敬称略）

日本学術会議 健康・生活科学委員会 生活科学分科会委員 6名

沖田富美子、春日文子、片山倫子、渋川祥子、白澤政和、塚原典子

（敬称略、五十音順）

事務局：青池（敬称略）

資料：添付資料（コンソーシアム委員名簿、生活科学系コンソーシアム規則、第5回会議議事録（案）、活動計画案（たたき台）、平成21年度行事予定表（一部））

議事内容

1. 前回(第5回)議事録（案）の確認（渋川会長）

メール審議で承認された議事録であるが、再度確認し原案どおり承認された。

2. 会長交代についての提案（渋川会長）

渋川会長より、生活科学分科会委員長と生活科学系コンソーシアム会長は、同一人物である方が運営上よいと考えられること、コンソーシアム規則においても規定はないことなどにより、コンソーシアム会長を生活科分科会委員長の片山倫子委員に交代してはとの提案がなされ、了承された。

以下の議事から、片山会長により議事進行がなされた。

3. コンソーシアムの今後の活動計画について（片山会長）

1) 生活科学分科会からのタタキ台の提案について（渋川委員）

「大学で取得できる生活科学関連専門職の免許カリキュラムの検討」-免許取得者の実情とこれからの展望を踏まえて-（添付資料参照）をテーマとし、コンソーシアムと分科会との共同作業で以下の手順で調査検討することが提案された。（詳細は添付資料参照）

①免許取得のためのカリキュラムに含まれる生活科学関連科目および職業上でのそれらの学習活用状況を調査する。

②今後の各職域需要の見通しと現在の教育の妥当性を検討し、今後のカリキュラムの方向性を提言する。

2) 1)を受け、分科会委員および各参加学会から活発な意見が出されたが、各構成学会に持ち帰り審議事項とし、下記につき、6月末までにメールにて決定事項を提出することになった。なお、年会費を有効に活用するための活動内容の検討を是非お願いしたい旨、会長から発言があった。

【持ち帰り審議事項】

① 今後コンソーシアムとして独自の活動を行うか否か

- ② 独自の活動を行う場合 → 資料の分科会が提案している活動計画内容（たたき台）についての賛否
 - 否の場合：具体的活動案の提案
- ③ 独自の活動を行わない場合 → 20期同様、分科会のシンポジウム共催などでよいか

4. 第2回総会開催について（片山会長）

昨年同様、7月を予定している旨の報告があった。

5. その他

1) 年会費について

昨年度と同額の会費徴収承認の有無を6月末までにメールにてコンソーシアム事務担当に連絡することに決定した。

2) H21年度行事予定表について

未提出学会から提出され次第、コンソーシアムHPを更新することで了承された。

3) 次回会議日程は未定

以上